

令和3年度

全国学力・学習状況調査

－ 結果の概要 －

令和3年10月
石川県教育委員会

目 次

I 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査の対象	1
3	調査の内容	1
	(1) 教科に関する調査	
	(2) 質問紙調査	
4	調査の方式	1
5	調査日	1
6	調査を実施した本県公立学校数・児童生徒数	1
	[本書における留意事項]	2

II 調査の結果

1	教科に関する調査の結果	3
	(1) 各教科の状況	4
	《小学校第6学年 国語》	
	《小学校第6学年 算数》	
	《中学校第3学年 国語》	
	《中学校第3学年 数学》	
	(2) 学校の分布状況	20
	(3) 各教育事務所の状況	22
	(4) 平均正答率の全国との差の変動	26
2	質問紙調査の結果	28
	(1) 児童生徒質問紙調査	28
	(2) 学校質問紙調査	35

I 調査の概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

- ・小学校第6学年，義務教育学校前期課程第6学年，特別支援学校小学部第6学年
- ・中学校第3学年，義務教育学校後期課程第3学年，特別支援学校中学部第3学年

3 調査の内容

(1) 教科に関する調査

国語 算数・数学	① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等 ※ 調査問題では、上記①と②を一体的に問う
-------------	---

(2) 質問紙調査

児童生徒質問紙	学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する調査
学校質問紙	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

4 調査の方式

悉皆調査

5 調査日 令和3年5月27日（木）

6 調査を実施した本県公立学校数・児童生徒数（義務教育学校，特別支援学校を含む）

区分	小学校第6学年	中学校第3学年
学校数	201校	86校
児童生徒数	8,989人	9,037人

[本書における留意事項]

1 語句について

語 句	説 明
平均正答数	児童生徒の正答数の平均
平均正答率	平均正答数を百分率で表示
標準偏差	集団のデータの平均値からの離れ具合（散らばりの度合い）を表す数値

2 到達状況の表記について

○平均正答率の比較については、国や県の平均正答率との差が、 $\pm 5\%$ 以上（以下）は上回る（下回る）、 $\pm 2\%$ 以上（以下）～ $\pm 5\%$ 未満はやや上回る（やや下回る）、 $\pm 2\%$ 未満は同程度と表記した。

○国が公表した過去の調査結果を参考にして、正答率の状況により、児童生徒の到達状況を下表のように表記した。

正 答 率	「到達状況」を示す記号、用語
90%以上の場合	◎：良好である
80%以上～90%未満の場合	○：概ね良好である
70%以上～80%未満の場合	◇：基準に到達している
60%以上～70%未満の場合	▽：十分とはいえない
60%未満の場合	▼：不十分である

3 調査結果の解釈等について

本調査は、幅広く児童生徒の学力や学習状況等を把握することなどを目的として実施しているが、実施教科が国語、算数・数学の2教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものではない。したがって、本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに留意する必要がある。

本調査の結果においては、国語、算数・数学の教科ごとの、平均正答率等の数値を示しているが、これらと分布の状況を表すグラフの形状など、他の情報とを合わせて総合的に結果を分析・評価する必要がある。

また、本調査結果の活用については、個々の設問や領域等に着目して学習指導上の課題を把握・分析し、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることが重要である。

4 調査結果の算出方法について

平成29年度から文部科学省は、全国の平均正答率を小数第一位までの小数値、県の平均正答率を整数値で公表している。

本資料における調査結果については、文部科学省から公表された数値を使用している。ただし、Ⅱ1(3)「各教育事務所の状況」及びⅡ1(4)「平均正答率の全国との差の変動」の資料作成に当たっては、文部科学省から公表された全国の平均正答率を小数第一位で四捨五入した整数値とし、本県の整数値の平均正答率と比較する本県独自の算出を行っている。そのため、精緻な数値での状況と異なる場合もある。

Ⅱ 調査の結果

1 教科に関する調査の結果

本県の平均正答率は、これまでの調査と同様に、小中学校の国語、算数・数学ともに全国より高い。

学年	項目	県・国	国語	算数・数学
小学校 第6学年	問数		14	16
	平均正答率 (%)	本県	71	74
		全国	64.7	70.2
中学校 第3学年	問数		14	16
	平均正答率 (%)	本県	69	63
		全国	64.6	57.2

- ※ 平成29年度から文部科学省は、県の平均正答率を整数値で公表している。
- ※ 令和元年度より、従来のA問題(知識)とB問題(活用)という区分を見直した知識・活用を一体的に問う調査問題となる。
- ※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の学校教育への影響等を考慮し、実施していない。

《参考》

[令和元年度の結果]

学年	県・国	国語	算数
小学校 第6学年	本県	72	72
	全国	63.8	66.6

学年	県・国	国語	数学	英語
中学校 第3学年	本県	77	65	58
	全国	72.8	59.8	56.0

[平成30年度の結果]

学年	県・国	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
小学校 第6学年	本県	76	61	68	59	66
	全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3

学年	県・国	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
中学校 第3学年	本県	79	65	71	52	71
	全国	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1

[平成29年度の結果]

学年	県・国	国語A	国語B	算数A	算数B
小学校 第6学年	本県	79	64	85	53
	全国	74.8	57.5	78.6	45.9

学年	県・国	国語A	国語B	数学A	数学B
中学校 第3学年	本県	82	77	69	53
	全国	77.4	72.2	64.6	48.1

(1)各教科の状況

《小学校第6学年 国語》

国語

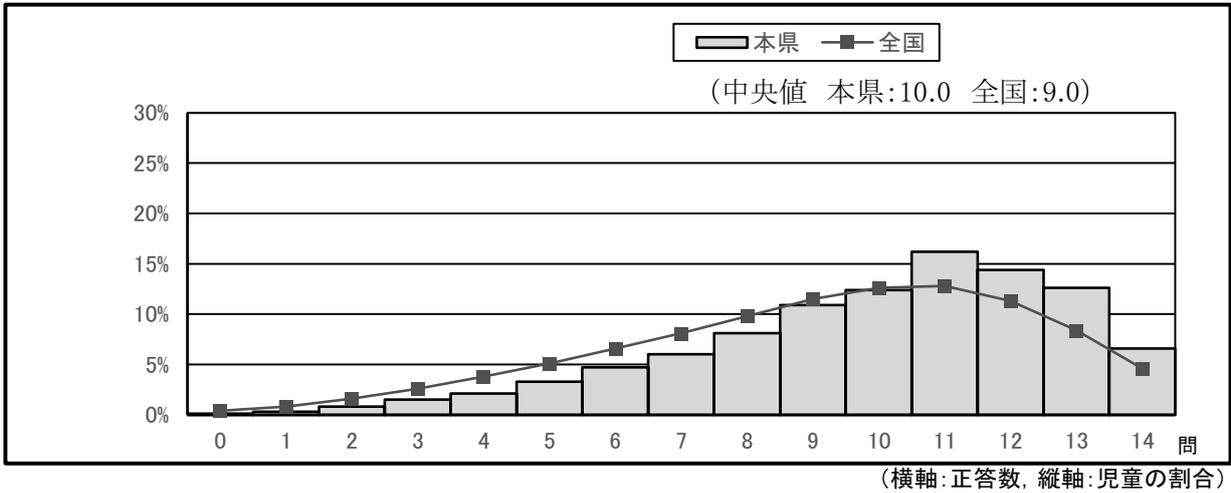
☆ 平均正答率は全国平均を上回り、基準に到達している。

☆ 思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うことは良好である。

☆ 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することに課題がある。

	平均正答数	平均正答率	標準偏差
本県	10.0 / 14 問	71 %	2.8
全国	9.1 / 14 問	64.7 %	3.1

【正答数分布グラフ】



【正答率の高い設問】

設問番号	設問の概要	本県	全国
1	2二 面ファスナーに関する【資料】の文章の中の「より」と同じ使い方として適切なものを選択する	90.4	87.5
2	3三(1)ア 丸山さんの【文章の下書き】の中の — 部アを、漢字を使って書き直す(ころがっている)	83.9	78.3
3	1三 津田梅子についての【スピーチ】の練習の [] の部分で話す内容として適切なものを選択する	83.9	81.0

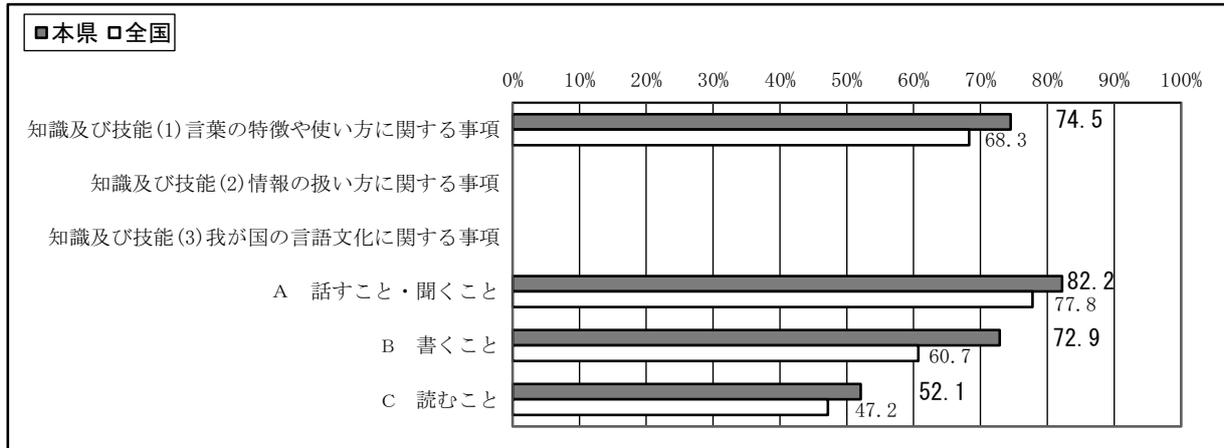
【正答率の低い設問】

設問番号	設問の概要	本県	全国
1	2四 面ファスナーに関する【資料】を読み、面ファスナーが、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く	34.7	29.7
2	2三 面ファスナーに関する【資料】を読み、メストラルは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかをまとめて書く	43.4	34.4
3	3三(2)オ 丸山さんの【文章の下書き】の中の — 部オで、〜部「すぐに」がくわしくしている言葉として適切なものを選択する	49.0	43.6

【到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▼:十分とはいえない ▼:不十分である

【内容別の平均正答率】



【知識及び技能(1)言葉の特徴や使い方に関する事項】

- ◎ : 思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うこと〔2二〕
- ▼ : 文の中における修飾と被修飾との関係を捉えること〔3三(2)オ〕

【A 話すこと・聞くこと】

- : 目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えること〔1一〕
- : 目的や意図に応じ、資料を使って話すこと〔1三〕

【B 書くこと】

- ◇ : 自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考えること〔3一〕
- ◇ : 目的や意図に応じて、理由を明確にししながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること〔3二〕

【C 読むこと】

- ◇ : 文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握すること〔2一〕
- ▼ : 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること〔2四〕

[]内:設問番号

【各設問の正答率等】

国語

■: 正答率が全国より高い

□: 正答率が全国より低い

設問番号	設問の概要	学習指導要領の内容						評価の観点			本県		全国	
		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
		(1) 言葉の特徴や使い方に 関する事項	(2) 情報の扱い方に 関する事項	(3) 我が国の言語文化に 関する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと							
1一	津田梅子の二つの業績を明確に伝えるために、【スピーチメモ】と【スピーチ】の練習で上野さんが話した構成の説明として適切なものを選択する				○					○	82.8	0.1	77.5	0.3
1二	津田梅子についての【スピーチ】の練習で、(資料②)と(資料③)を使った理由の説明として適切なものを選択する				○					○	80.0	0.1	74.9	0.4
1三	津田梅子についての【スピーチ】の練習の□の部分で話す内容として適切なものを選択する				○					○	83.9	0.1	81.0	0.4
2一	面ファスナーに関する【資料】の文章が、何について、どのように書かれているかの説明として適切なものを選択する						○			○	78.1	0.1	77.6	0.4
2二	面ファスナーに関する【資料】の文章の中の「より」と同じ使い方として適切なものを選択する	○								○	90.4	0.1	87.5	0.3
2三	面ファスナーに関する【資料】を読み、メストラは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかをまとめて書く						○			○	43.4	2.7	34.4	4.1
2四	面ファスナーに関する【資料】を読み、面ファスナーが、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く						○			○	34.7	3.2	29.7	5.5
3一	丸山さんの【文章の下書き】の構成についての説明として適切なものを選択する					○				○	73.1	0.5	64.8	2.1

【各設問の正答率等】

国語

■: 正答率が全国より高い

□: 正答率が全国より低い

設問番号	設問の概要	学習指導要領の内容						評価の観点			本県		全国	
		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
		(1) 言葉の特徴や使い方に 関する事項	(2) 情報の扱い方に 関する事項	(3) 我が国の言語文化に 関する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと							
3二	丸山さんの【文章の下書き】の……部を【西田さんの話】を用いて詳しく書き直す										72.8	4.4	56.6	9.6
3三(1)ア	丸山さんの【文章の下書き】の中の——部アを、漢字を使って書き直す(ころがっている)	○							○		83.9	3.7	78.3	8.8
3三(1)ウ	丸山さんの【文章の下書き】の中の——部ウを、漢字を使って書き直す(つみ重ね)	○							○		63.0	6.0	54.4	14.4
3三(1)エ	丸山さんの【文章の下書き】の中の——部エを、漢字を使って書き直す(げんいん)	○							○		82.7	2.4	79.0	6.6
3三(2)イ	丸山さんの【文章の下書き】の中の——部イで、~~~部「残されています」の主語として適切なものを選択する	○							○		77.7	0.3	67.0	3.8
3三(2)オ	丸山さんの【文章の下書き】の中の——部オで、~~~部「すぐに」がくわしくしている言葉として適切なものを選択する	○							○		49.0	0.4	43.6	4.1

《小学校第6学年 算数》

算数

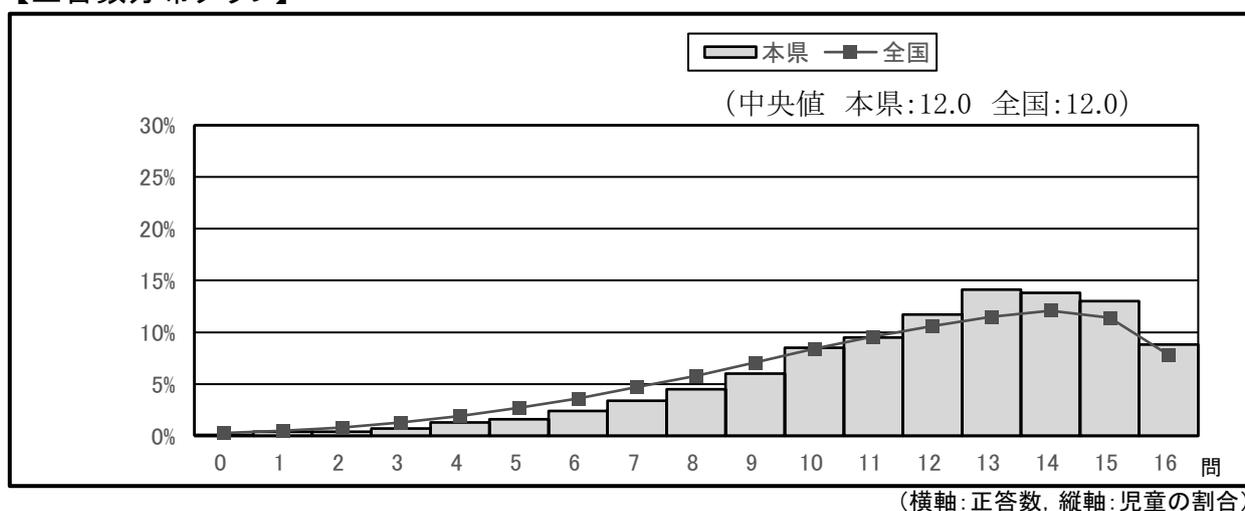
☆ 平均正答率は全国平均をやや上回り、基準に到達している。

☆ 棒グラフから、数量や項目間の関係を読み取ることについては良好である。

☆ 基本図形の面積の求め方について理解することや、複数の図形を組み合わせた図形の面積の求め方と答えについて、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、式や言葉を用いて記述することに課題がある。

	平均正答数	平均正答率	標準偏差
本県	11.9 / 16 問	74 %	3.1
全国	11.2 / 16 問	70.2 %	3.5

【正答数分布グラフ】



【正答率の高い設問】

設問番号	設問の概要	本県	全国
1	3(1) 6年生の本の貸し出し冊数を、棒グラフから読み取って選ぶ	97.1	95.8
2	3(2) 学年ごとの本の貸し出し冊数について、棒グラフから分かることを選ぶ	93.1	90.7
3	1(4) 午後1時35分から50分後の時刻を書く	91.2	89.2

【正答率の低い設問】

設問番号	設問の概要	本県	全国
1	2(3) 二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く	49.7	46.0
2	2(1) 直角三角形の面積を求める式と答えを書く	54.3	55.1
3	1(3) ㊦と㊧の二つの速さを求める式の意味について、正しいものを選ぶ	57.9	55.8

【本県の平均正答率が全国の平均正答率より低い設問】

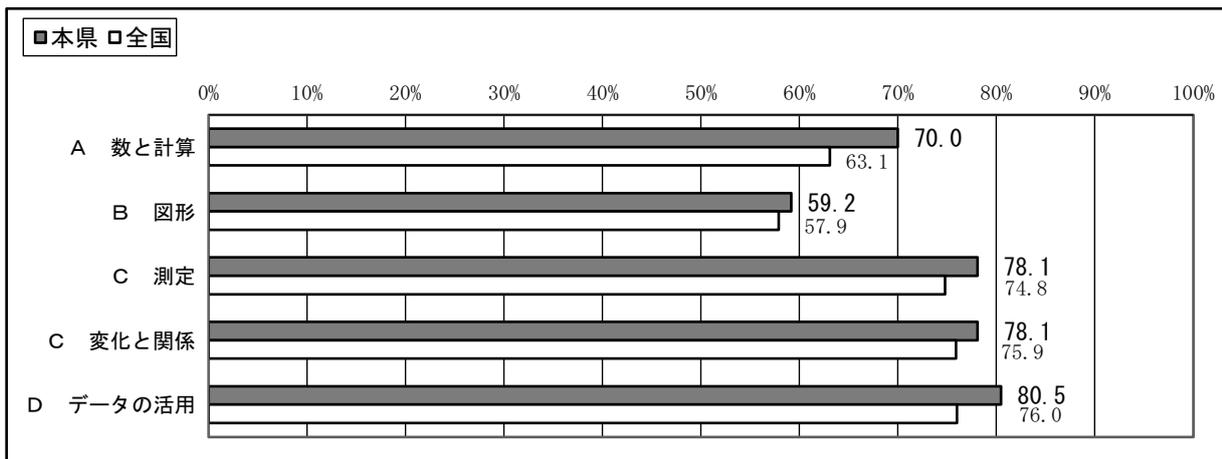
算数

設問番号	設問の概要	本県	全国	差
1 2(1)	直角三角形の面積を求める式と答えを書く	54.3	55.1	-0.8

【到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▽:十分とはいえない ▼:不十分である

【領域等別の平均正答率】



[A 数と計算]

- : 示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断すること[4(1)]
- ▼ : 商が1より小さくなる等分除(整数)÷(整数)の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすること[4(2)]

[B 図形]

- ◇ : 複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べること[2(2)]
- ▼ : 複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述すること[2(3)]
- ▼ : 三角形の面積の求め方について理解すること[2(1)]

[C 測定]

- ◎ : 条件に合う時刻を求めること[1(4)]
- ▽ : 二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述すること[1(1)]

[C 変化と関係]

- : 速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察すること[1(2)]
- : 速さと道のりを基に、時間を求める式に表すこと[1(5)]

[D データの活用]

- ◎ : 棒グラフから、数量を読み取ること[3(1)]
- ◇ : 集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきかを判断すること[3(5)]

【各設問の正答率等】

算数

■:正答率が全国より高い

□:正答率が全国より低い

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域					評価の観点			本県		全国	
		A 数と計算	B 図形	C 測定	C 変化と関係	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1(1)	二つのコースの道のりの差の求め方と答えを書く	○		○						69.5	0.8	62.5	1.7
1(2)	500mを歩くのに7分間かかることを基に、1000mを歩くのにかかる時間を書く				○				○	89.3	0.8	86.7	1.7
1(3)	㊦と㊧の二つの速さを求める式の意味について、正しいものを選ぶ				○				○	57.9	0.5	55.8	1.4
1(4)	午後1時35分から50分後の時刻を書く			○					○	91.2	0.3	89.2	0.7
1(5)	分速540mのバスが2700mを進むのにかかる時間を求める式を書く				○				○	87.2	0.7	85.1	1.5
2(1)	直角三角形の面積を求める式と答えを書く		○						○	54.3	0.8	55.1	1.6
2(2)	直角三角形を組み合わせた図形面積について分かることを選ぶ		○	○					○	73.5	0.5	72.5	1.0
2(3)	二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く		○						○	49.7	2.9	46.0	4.6
3(1)	6年生の本の貸し出し冊数を、棒グラフから読み取って選ぶ					○			○	97.1	0.1	95.8	0.4
3(2)	学年ごとの本の貸し出し冊数について、棒グラフから分かることを選ぶ					○			○	93.1	0.1	90.7	0.4

【各設問の正答率等】

算数

■:正答率が全国より高い

□:正答率が全国より低い

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域				評価の観点			本県		全国	
		A 数と計算	B 図形	C 測定	C 変化と関係	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)
3(3)	「114」は二次元の表のどこに入るかを選ぶ					○	○		73.6	0.6	67.5	1.7
3(4)	帯グラフから、割合の違いが、一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く					○		○	58.9	5.6	52.0	10.3
3(5)	5年生と6年生の読みたい本と、多くの5年生と6年生に読まれている本を調べるために、適切なデータを選ぶ					○		○	79.9	0.5	73.9	1.3
4(1)	余りのある除法の商と余りを基に、23個のボールを6個ずつ箱に入れていくときに必要な箱の数を書く	○						○	87.8	0.8	83.0	1.7
4(2)	8人に4Lのジュースを等しく分けるときの一人分のジュースの量を求める式と答えを書く	○						○	59.4	1.0	55.5	2.0
4(3)	30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけを書く	○						○	63.3	4.7	51.5	10.3

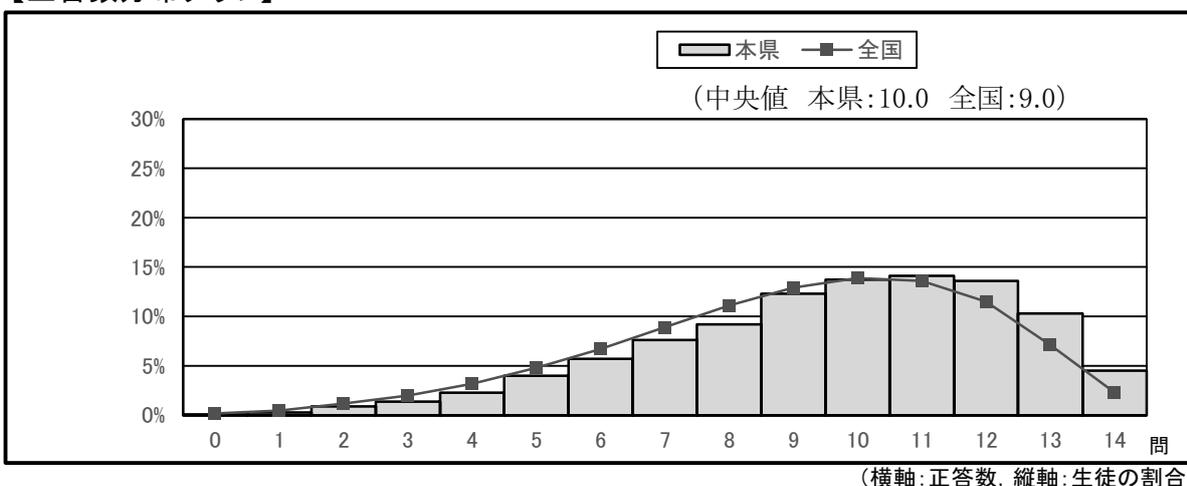
《中学校第3学年 国語》

国語

- ☆ 平均正答率は全国平均をやや上回るが、十分とはいえない。
- ☆ 話し合いの中で話題や方向を捉えたり、質問の意図を捉えたりすることは良好である。
- ☆ 推敲する場面において、語句や文の使い方、段落相互の関係について考えることに課題がある。

	平均正答数	平均正答率	標準偏差
本県	9.6 / 14 問	69 %	2.8
全国	9.0 / 14 問	64.6 %	2.8

【正答数分布グラフ】



【正答率の高い設問】

設問番号	設問の概要	本県	全国
1 4一 ①	漢字を読む(伸ばして)	98.1	97.5
2 1二	話し合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する	93.9	92.5
3 1一	話し合いでの司会の発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する	92.7	89.7

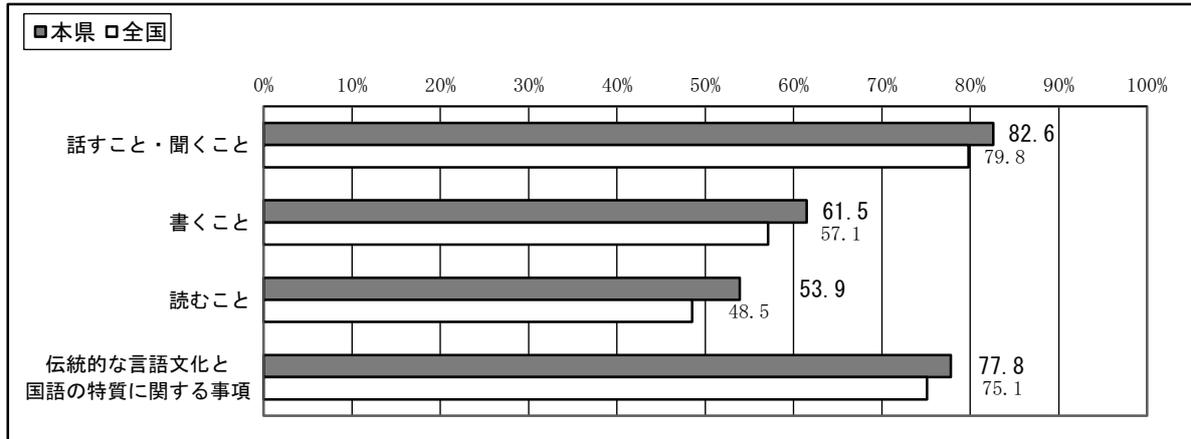
【正答率の低い設問】

設問番号	設問の概要	本県	全国
1 2一	意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する	30.7	24.8
2 3四	「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うかを書く	31.0	20.5
3 4三	「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類として適切なものを選択する	45.9	40.3

【到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▽:十分とはいえない ▼:不十分である

【領域等別の平均正答率】



【話すこと・聞くこと】

- ◎ : 質問の意図を捉えること[1二]
- ◎ : 話合いの話題や方向を捉えること[1一]
- ▽ : 話合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考えること[1三]

【書くこと】

- ◇ : 書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考えること[2二]
- ▼ : 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くこと[2一]

【読むこと】

- ▽ : 場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解すること[3二]
- ▼ : 文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつこと[3四]

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ◎ : 文脈に即して漢字を正しく読むこと[4一①②]
- ▼ : 相手や場に応じて敬語を適切に使うこと[4三]

[]内:設問番号

【各設問の正答率等】

国語

■: 正答率が全国より高い

□: 正答率が全国より低い

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域等				評価の観点				本県		全国		
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1一	話し合いでの司会の発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する	○					○				92.7	0.1	89.7	0.2
1二	話し合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する	○					○				93.9	0.2	92.5	0.2
1三	参加者の誰がどのようなことについて発言するとよいかと、そのように考えた理由を書く	○				○	○				61.2	3.7	57.1	3.4
2一	意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する		○								30.7	0.2	24.8	0.3
2二	意見文の下書きの構成の工夫について、自分の考えを書く		○			○	○				79.5	7.4	74.5	8.5
3一	「呼吸をのみこんだ」の意味として適切なものを選択する			○							48.0	0.2	43.7	0.4
3二	「喝采してやる」と「とった」のそれぞれについて、誰の動作なのかを選択する			○							62.4	0.3	58.7	0.4
3三	「反対の結果を呈出した」について、このことが分かる「黒」の様子を文章の中から抜き出す			○							74.1	6.0	71.0	7.3

【各設問の正答率等】

国語

■: 正答率が全国より高い

□: 正答率が全国より低い

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域等				評価の観点				本県		全国		
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
3四	「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うかを書く			○		○			○		31.0	20.3	20.5	24.1
4一 ①	漢字を読む(伸ばして)				○				○		98.1	1.0	97.5	1.5
4一 ②	漢字を読む(詳細)				○				○		91.1	1.6	88.8	2.3
4二	「随時」の意味として適切なものを選択する				○				○		76.0	0.9	74.0	1.1
4三	「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類として適切なものを選択する				○				○		45.9	1.4	40.3	1.7
4四	事前に確かめておきたいことについて相手に失礼のないように書く		○			○			○		74.4	8.6	71.9	9.7

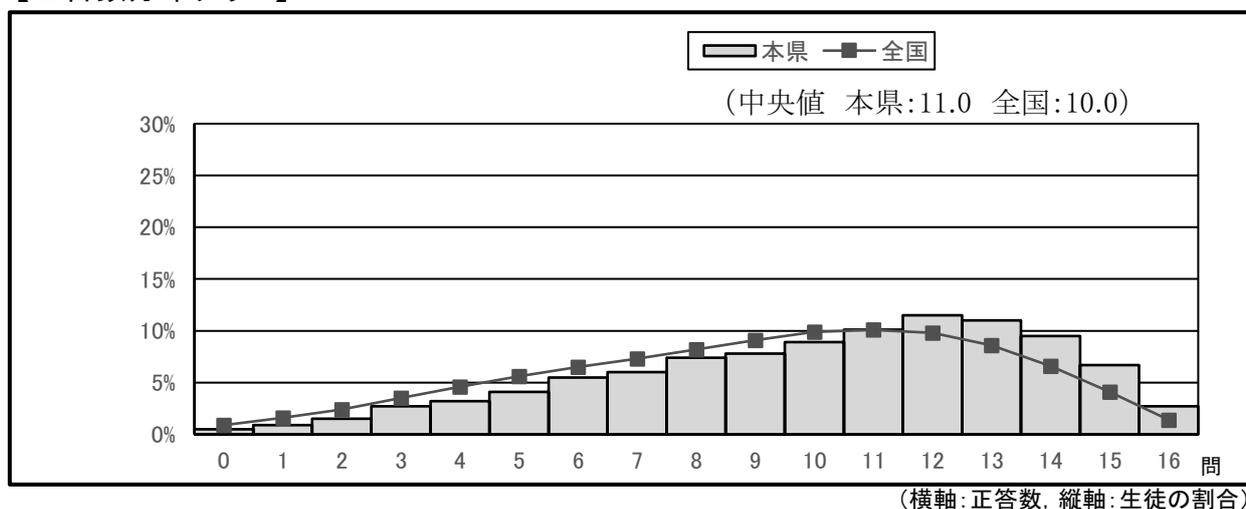
《中学校第3学年 数学》

数学

- ☆ 平均正答率は全国平均を上回るが、十分とはいえない。
- ☆ 与えられたデータや表、グラフから、必要な情報を適切に読み取ることについては良好である。
- ☆ 事象を数学的に解釈したりデータの傾向を的確に捉えたりし、問題解決の方法や判断の理由などを数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

	平均正答数	平均正答率	標準偏差
本県	10.1 / 16 問	63 %	3.6
全国	9.1 / 16 問	57.2 %	3.7

【正答数分布グラフ】



【正答率の高い設問】

設問番号	設問の概要	本県	全国
1	7(1) 与えられた表やグラフから、砂の重さが75gのときに、砂が落ちきるまでの時間が36.0秒であったことを表す点を求める	95.2	93.5
2	8(1) 気温差が9℃以上12℃未満の階級の度数を書く	89.7	83.0
3	5 反復横とびの記録の中央値を求める	88.5	84.5

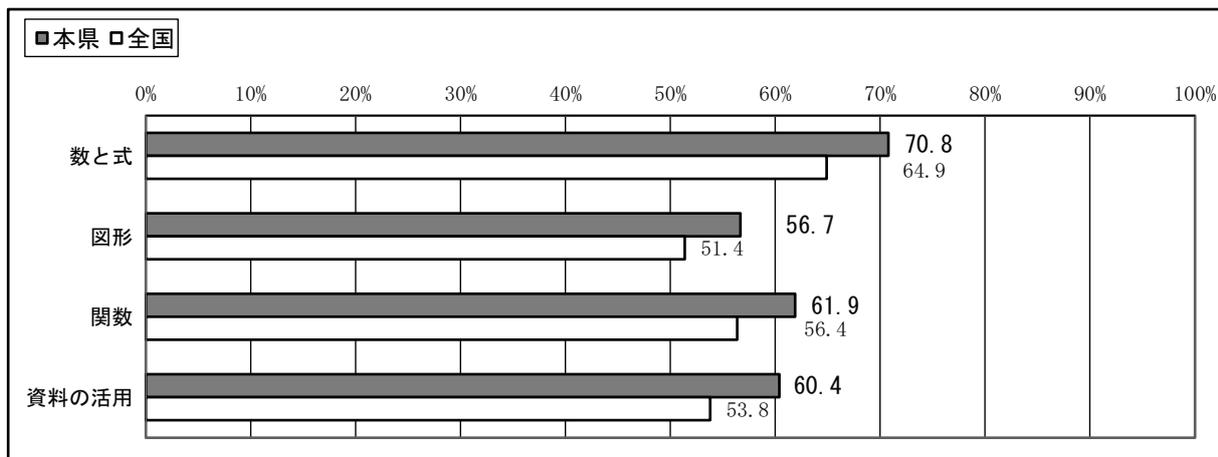
【正答率の低い設問】

設問番号	設問の概要	本県	全国
1	8(3) 「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する	16.2	11.1
2	9(3) $\angle ARG$ や $\angle ASG$ の大きさについていつでもいえることを書く	34.1	28.8
3	7(2) 与えられた表やグラフを用いて、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明する	35.9	27.7

【到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▽:十分とはいえない ▼:不十分である

【領域等別の平均正答率】



【数と式】

- : 問題場面における考察の対象を明確に捉えること〔6(1)〕
- ◇ : 具体的な場面で、一元一次方程式をつくること〔2〕

【図形】

- ▽ : 錯角が等しくなるための、2直線の位置関係を理解すること〔9(2)〕
- ▼ : ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現すること〔9(3)〕

【関数】

- ◎ : 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ること〔7(1)〕
- ▼ : 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること〔7(2)〕

【資料の活用】

- : ヒストグラムからある階級の度数を読み取ること〔8(1)〕
- ▼ : データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること〔8(3)〕

[]内:設問番号

【各設問の正答率等】

数学

■:正答率が全国より高い

□:正答率が全国より低い

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域				評価の観点				本県		全国	
		数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1	$(5x+6y)-(3x-2y)$ を計算する	○					○			81.1	0.6	77.1	0.8
2	数量の関係を一元一次方程式で表す	○					○			77.5	5.1	71.3	7.6
3	中心角 60° の扇形の弧の長さについて正しいものを選ぶ		○					○		72.0	0.2	68.1	0.3
4	経過した時間と影の長さの関係を、「…は…の関数である」という形で表現する			○				○		54.7	5.9	48.0	9.3
5	反復横とびの記録の中央値を求める				○			○		88.5	0.7	84.5	1.0
6(1)	四角で囲んだ4つの数が12, 13, 17, 18のとき, それらの和が4の倍数になるかどうかを確かめる式を書く	○						○		87.7	2.2	83.9	3.5
6(2)	四角で4つの数を囲むとき, 4つの数の和はいつでも4の倍数になることの説明を完成する	○						○		69.5	11.6	61.8	15.4
6(3)	四角で4つの数を囲むとき, 四角で囲んだ4つの数の和がどの位置にある2つの数の和の2倍であることを説明する	○						○		38.0	20.7	30.3	29.9
7(1)	与えられた表やグラフから, 砂の重さが75gのときに, 砂が落ちきるまでの時間が36.0秒であったことを表す点を求める			○				○		95.2	1.5	93.5	2.0
7(2)	与えられた表やグラフを用いて, 2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明する			○				○		35.9	16.9	27.7	24.7

【各設問の正答率等】

数学

■:正答率が全国より高い

□:正答率が全国より低い

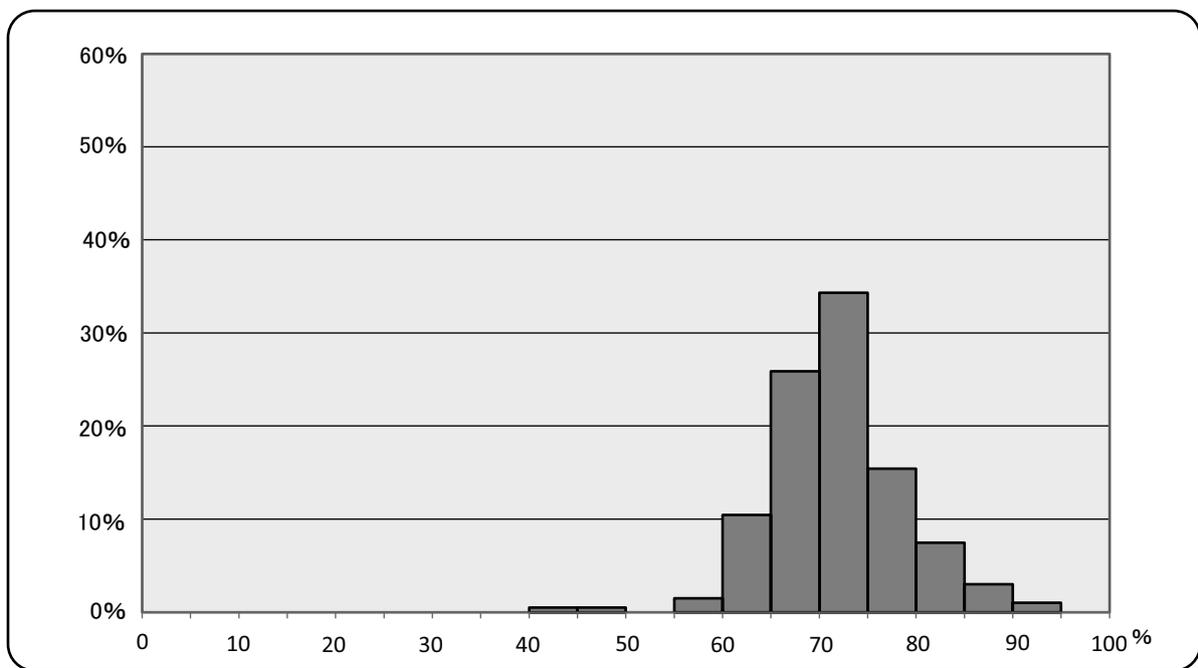
設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域				評価の観点				本県		全国	
		数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
8(1)	気温差が9°C以上12°C未満の階級の度数を書く				○				○	89.7	2.4	83.0	4.2
8(2)	2つの分布の傾向を比較するために相対度数を用いることの前提となっている考えを選ぶ				○				○	47.1	0.7	36.8	1.0
8(3)	「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する				○		○			16.2	25.0	11.1	32.2
9(1)	四角形ABCEが平行四辺形になることを、平行四辺形になるための条件を用いて説明する		○						○	50.9	3.4	44.3	3.6
9(2)	錯角が等しくなることについて、根拠となる直線FEと直線BCの関係を、記号を用いて表す		○						○	69.9	10.4	64.3	14.2
9(3)	∠ARGや∠ASGの大きさについていつでもいえることを書く		○						○	34.1	22.6	28.8	28.7

(2) 学校の分布状況

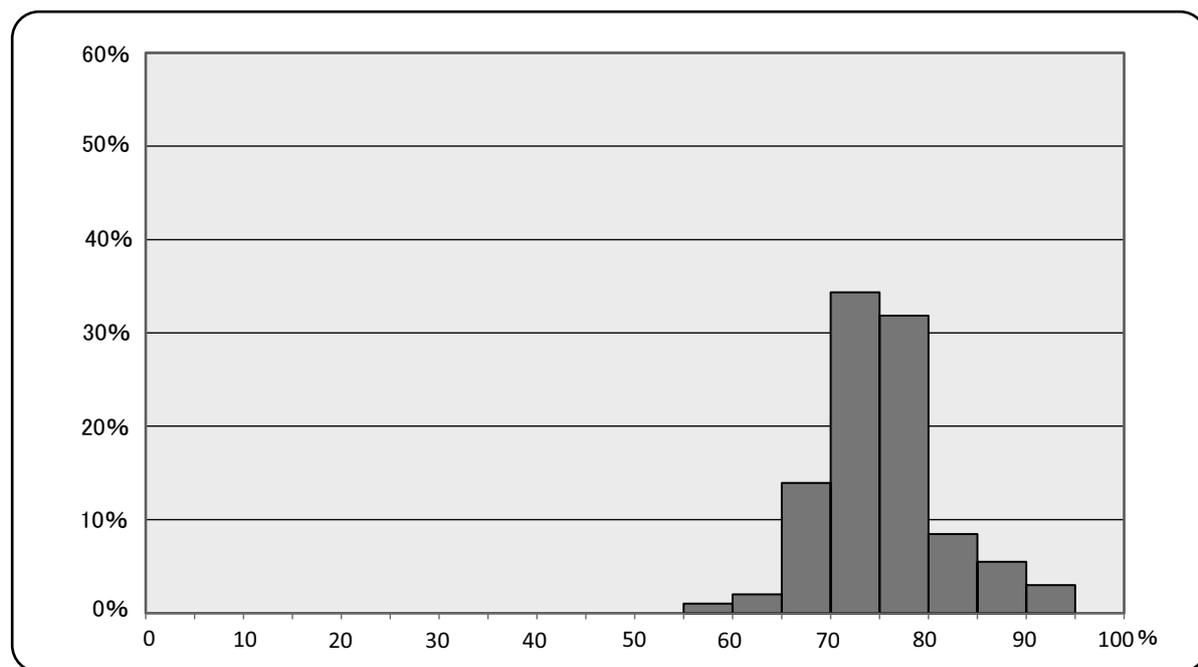
《公立小学校第6学年》

学校数	201校
-----	------

国語



算数

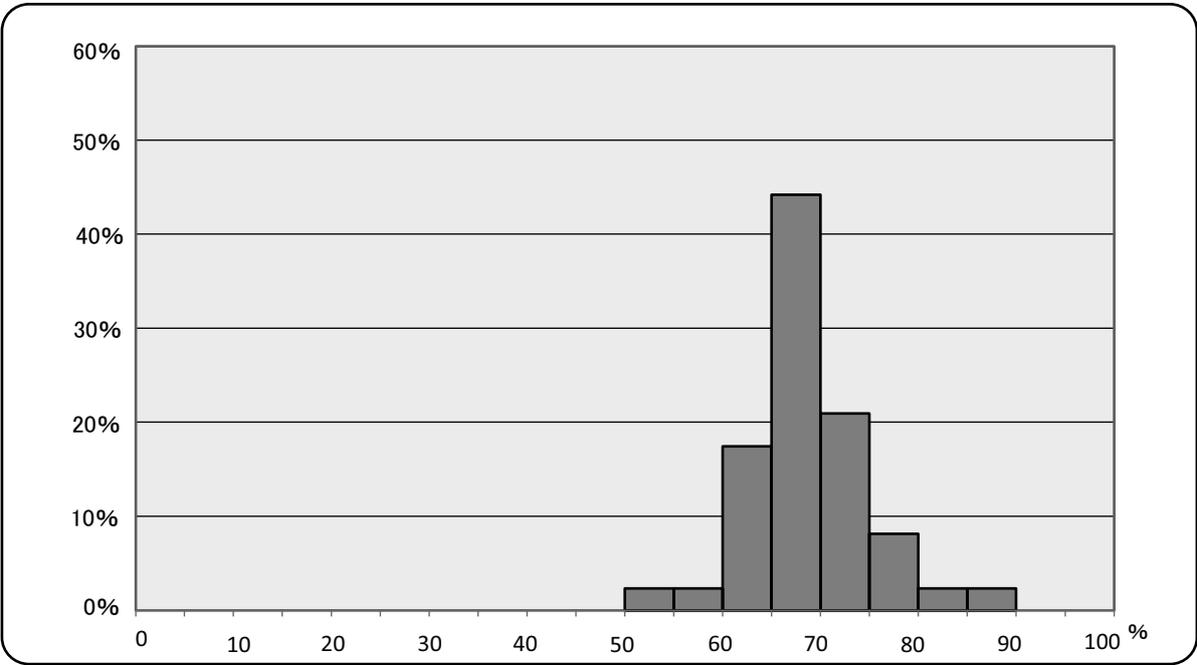


(横軸:学校の平均正答率 縦軸:学校数の割合)

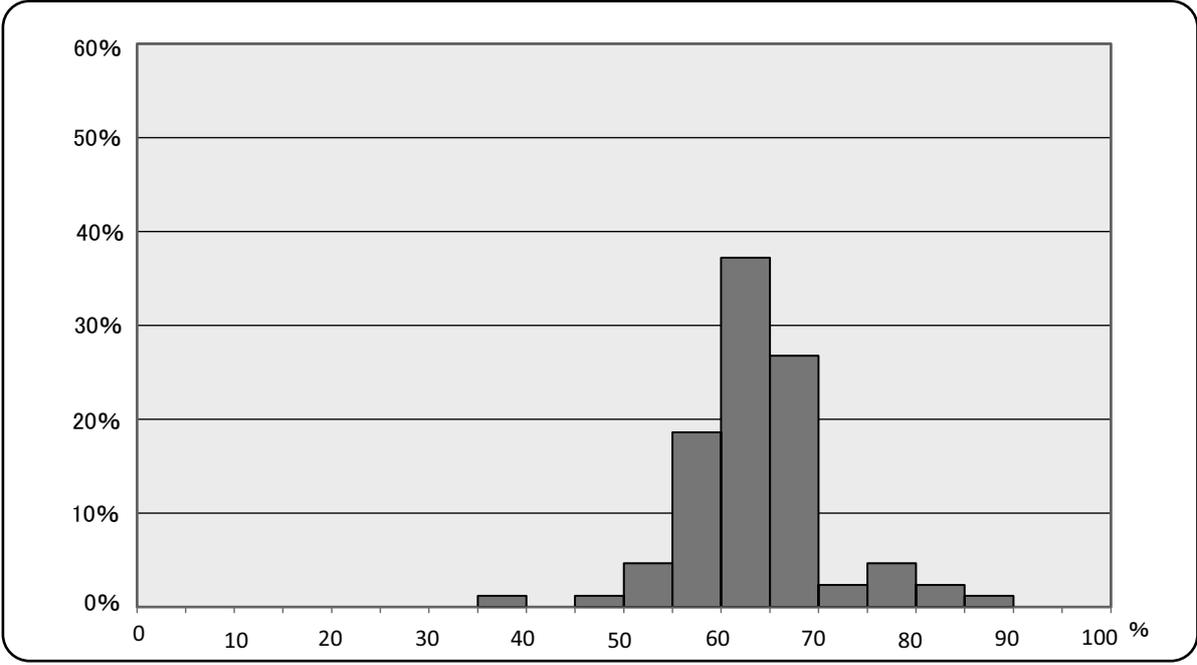
《公立中学校第3学年》

学校数	86校
-----	-----

国語



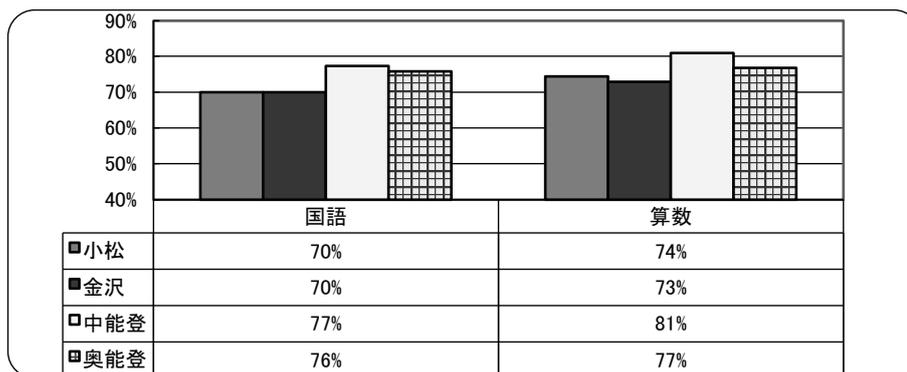
数学



(横軸: 学校の平均正答率 縦軸: 学校数の割合)

(3) 各教育事務所の状況

〔小学校〕



※平成29年度から文部科学省は、県の平均正答率を整数値で公表している。

本資料は、各教育事務所管内の状況について、国、県、及び市町教育委員会、それぞれの平均正答率を整数値として示したものであり、そのため精緻な数値での状況と異なる場合もある。

【小松教育事務所管内】

加賀市	国語は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。
小松市	国語は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。
能美市	国語は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。
川北町	国語は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。

【金沢教育事務所管内】

白山市	国語は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。
野々市市	国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。 算数は、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率をやや下回る。
金沢市	国語は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。
津幡町	国語は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。
内灘町	国語は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。
かほく市	国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 算数は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。

【中能登教育事務所管内】

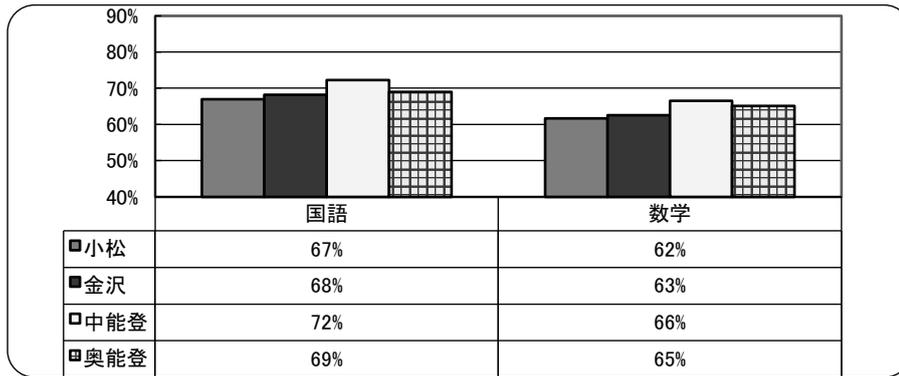
宝達志水町	国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。 算数は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。
志賀町	国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 算数は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。
羽咋市	国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。 算数は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。
中能登町	国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。 算数は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。
七尾市	国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 算数は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。

【奥能登教育事務所管内】

能登町	国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。 算数は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。
穴水町	国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 算数は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。
輪島市	国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。 算数は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。
珠洲市	国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 算数は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。

※表記の仕方：国や県の平均正答率との差が、 $\pm 5\%$ 以上(以下)は上回る(下回る)、 $\pm 2\%$ 以上(以下)～ $\pm 5\%$ 未満はやや上回る(やや下回る)、 $\pm 2\%$ 未満は同程度。

〔中学校〕



※平成29年度から文部科学省は、県の平均正答率を整数値で公表している。

本資料は、各教育事務所管内の状況について、国、県、及び市町教育委員会、それぞれの平均正答率を整数値として示したものであり、そのため精緻な数値での状況と異なる場合もある。

【小松教育事務所管内】

加賀市	国語は、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率をやや下回る。 数学は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。
小松市	国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。 数学は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。
能美市	国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。 数学は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。
川北町	国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。 数学は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。

【金沢教育事務所管内】

白山市	国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。 数学は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。
野々市市	国語は、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率をやや下回る。 数学は、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率を下回る。
金沢市	国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。 数学は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。
津幡町	国語は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 数学は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。
内灘町	国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。 数学は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。
かほく市	国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 数学は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。

【中能登教育事務所管内】

宝達志水町 国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。

数学は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。

志賀町 国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。

数学は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。

羽咋市 国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。

数学は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。

中能登町 国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。

数学は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。

七尾市 国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。

数学は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。

【奥能登教育事務所管内】

能登町 国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。

数学は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。

穴水町 国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。

数学は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。

輪島市 国語は、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率をやや下回る。

数学は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。

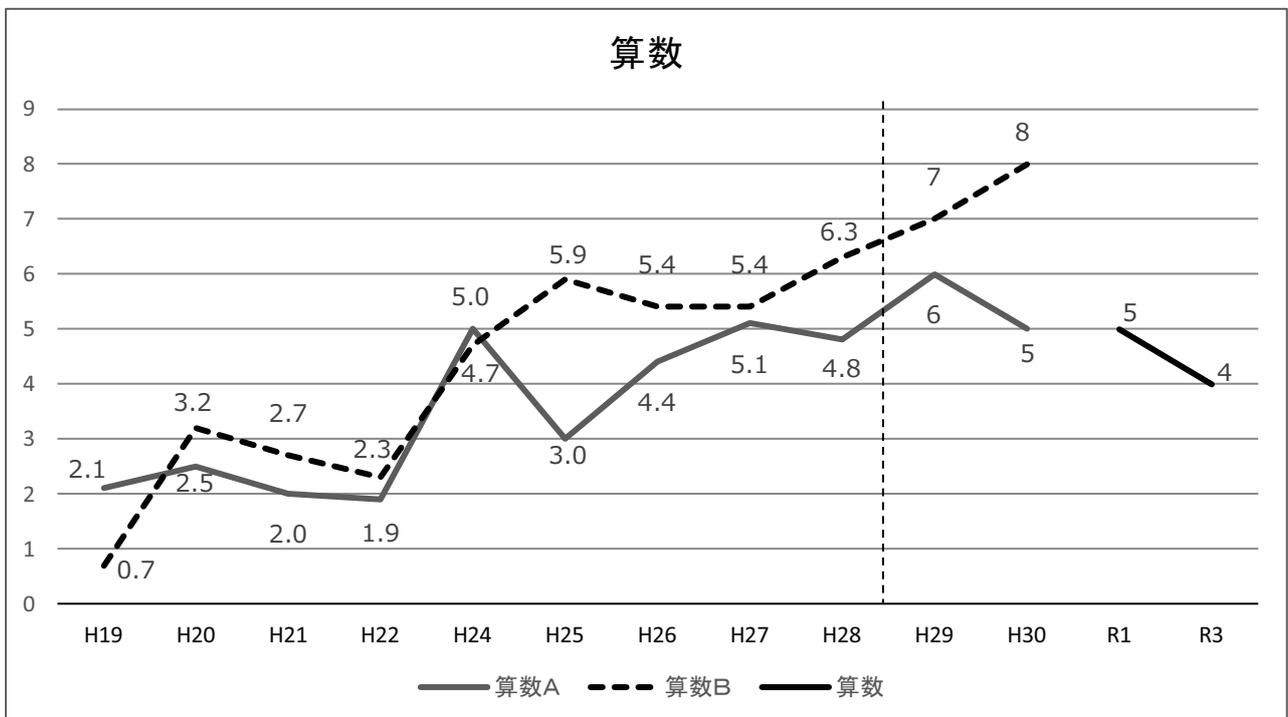
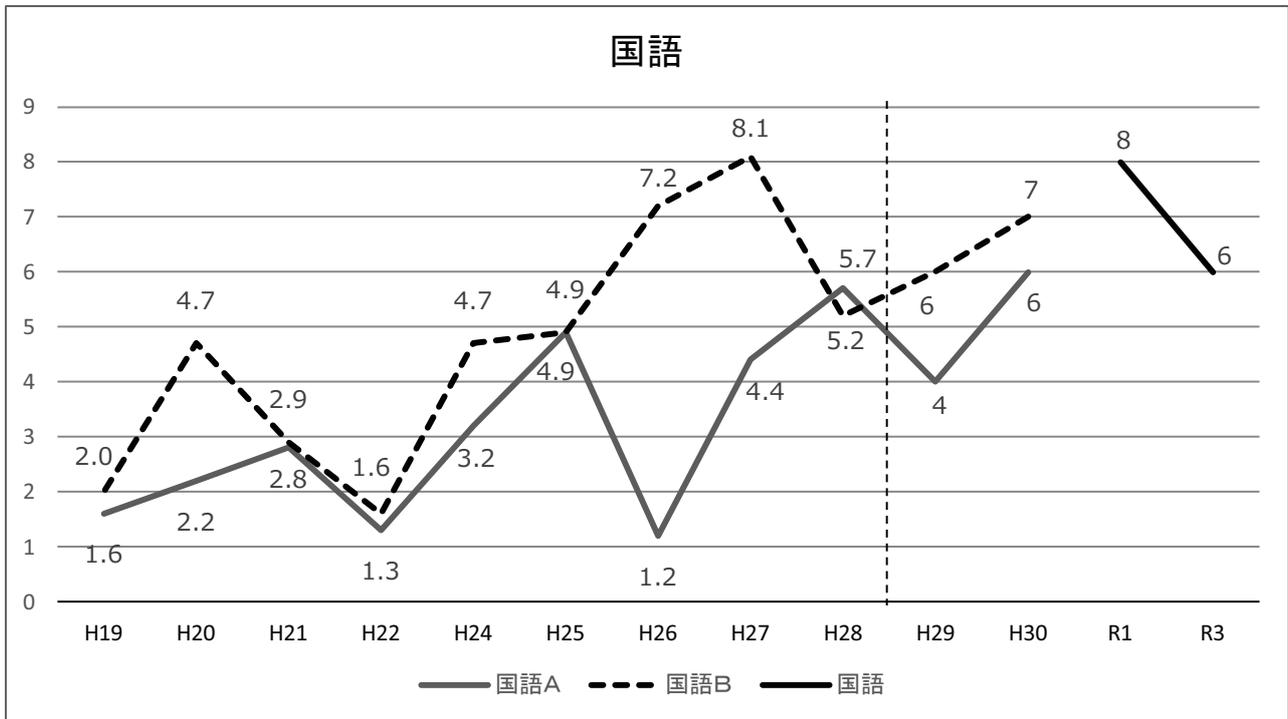
珠洲市 国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。

数学は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率をやや上回る。

※表記の仕方：国や県の平均正答率との差が、 $\pm 5\%$ 以上(以下)は上回る(下回る)、 $\pm 2\%$ 以上(以下)～ $\pm 5\%$ 未満はやや上回る(やや下回る)、 $\pm 2\%$ 未満は同程度。

(4) 平均正答率の全国との差の変動(国語, 算数・数学)

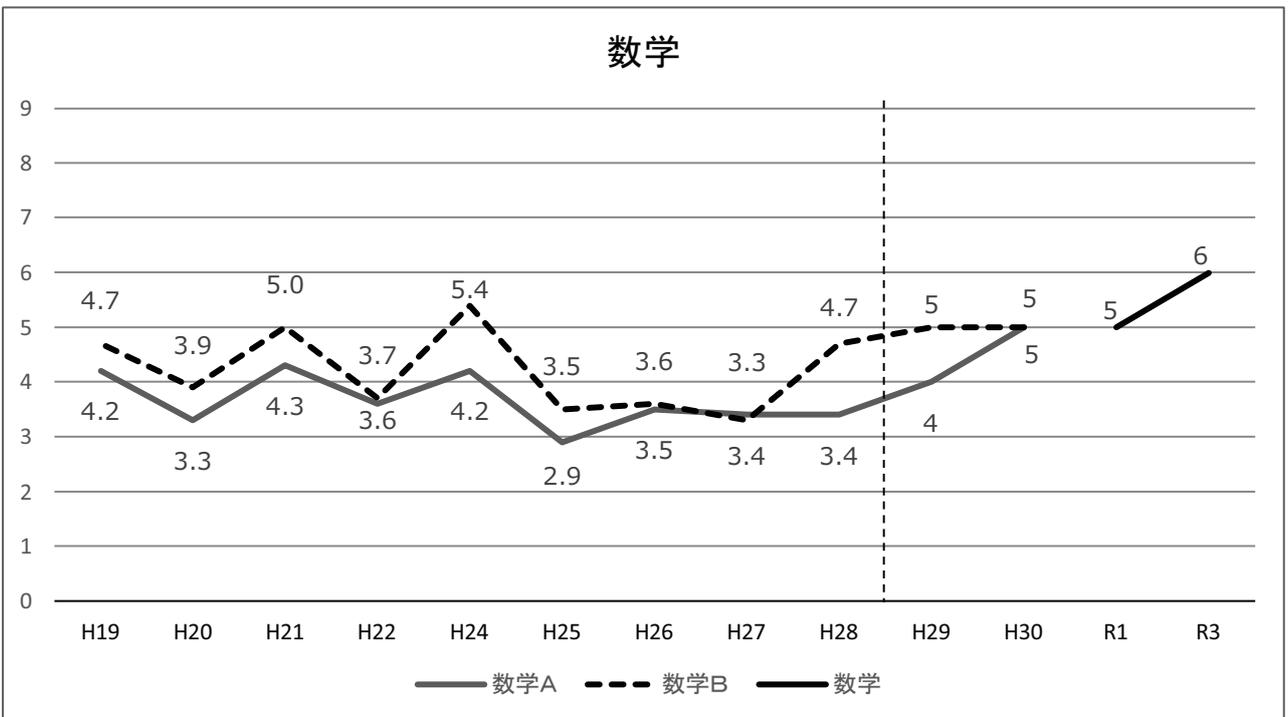
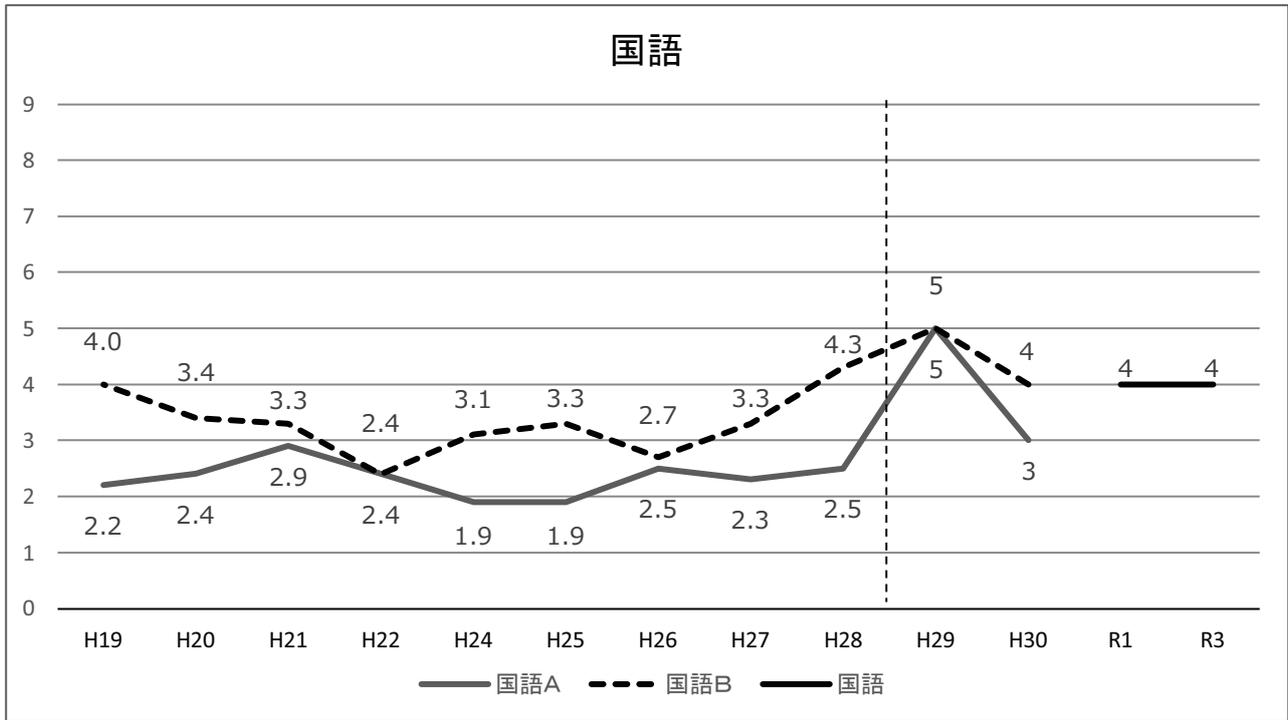
小学校



(横軸:年度 縦軸:ポイント)

- ※ 平成29年度より, 文部科学省は, 県の平均正答率を整数値で公表している。そのため, 国, 県, それぞれの平均正答率を整数値として算出し, その差を示したものである。
- ※ 悉皆調査(H19~H21, H26~), 抽出調査(H22, H24), 文部科学省による調査は中止(H23)
- ※ 令和元年度より, 従来のA問題(知識)とB問題(活用)という区分を見直した知識・活用を一体的に問う調査問題となる。
- ※ 令和2年度は, 新型コロナウイルス感染症の学校教育への影響等を考慮し, 実施していない。

中学校



(横軸:年度 縦軸:ポイント)

- ※ 平成29年度より, 文部科学省は, 県の平均正答率を整数値で公表している。そのため, 国, 県, それぞれの平均正答率を整数値として算出し, その差を示したものである。
- ※ 悉皆調査(H19~H21, H26~), 抽出調査(H22, H24), 文部科学省による調査は中止(H23)
- ※ 令和元年度より, 従来のA問題(知識)とB問題(活用)という区分を見直した知識・活用を一体的に問う調査問題となる。
- ※ 令和2年度は, 新型コロナウイルス感染症の学校教育への影響等を考慮し, 実施していない。

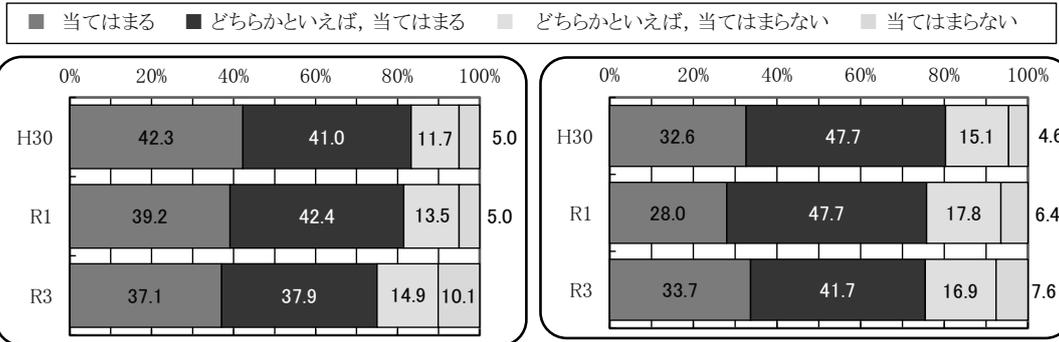
2 質問紙調査の結果

(1) 児童生徒質問紙調査

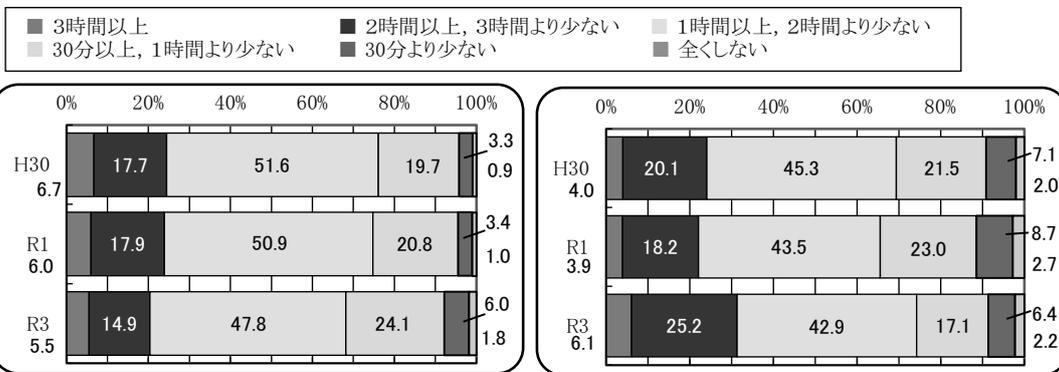
【小学校】

【中学校】

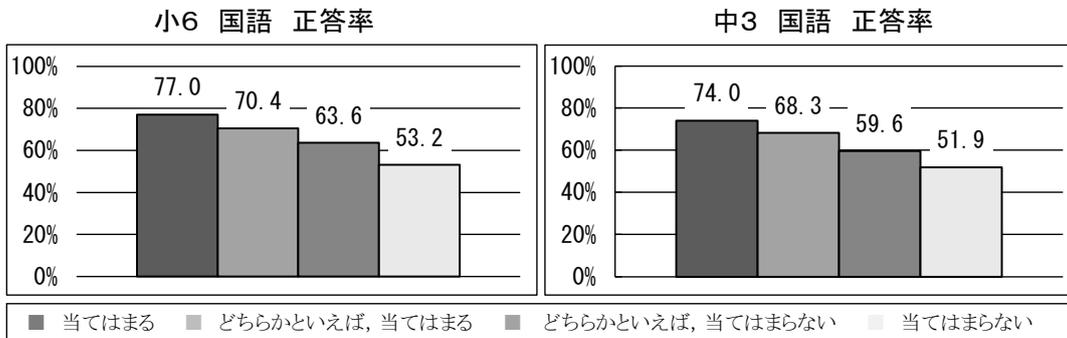
◇ 自分には、よいところがあると思いますか。



◇ 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む。）

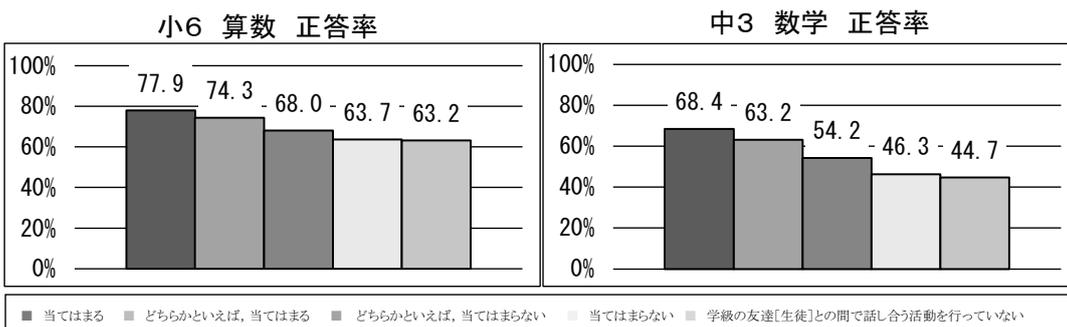


◇ 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。



※児童生徒質問紙調査において、各教科区分とのクロス集計したグラフから、小・中ともに国語のグラフを抜粋

◇ 学級の友達[生徒]との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。



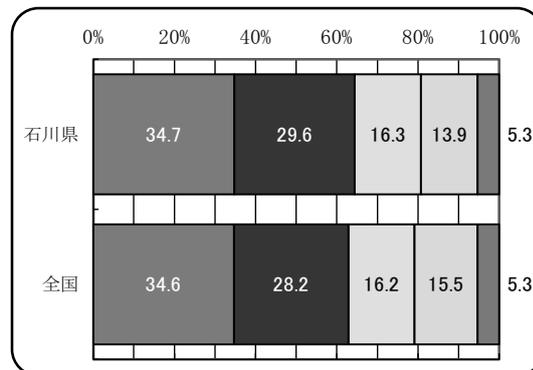
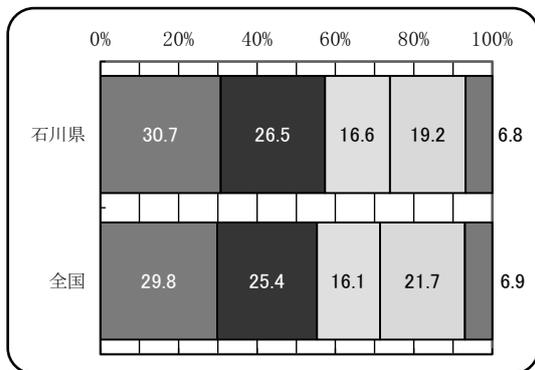
※児童生徒質問紙調査において、各教科区分とのクロス集計したグラフから、小は算数、中は数学のグラフを抜粋

【小学校】

【中学校】

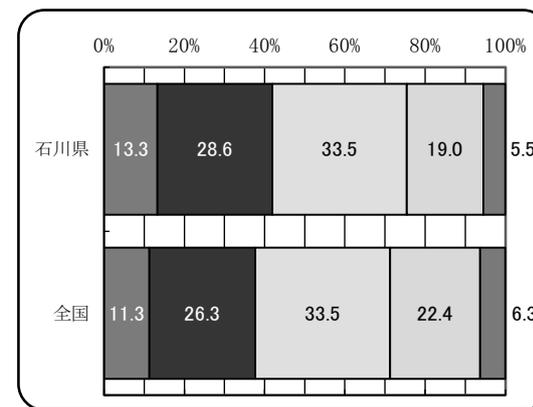
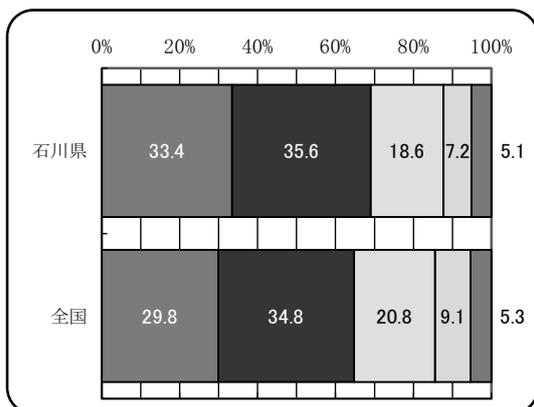
◇ 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか。

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 思い出せない



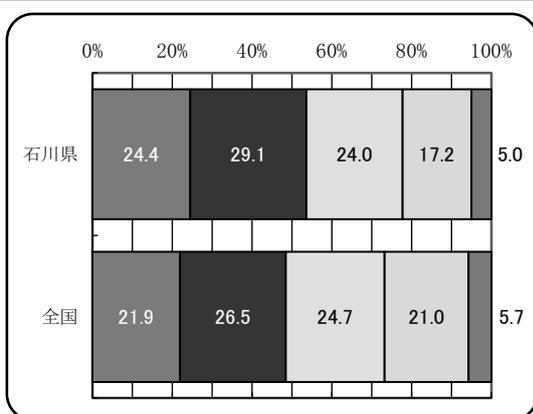
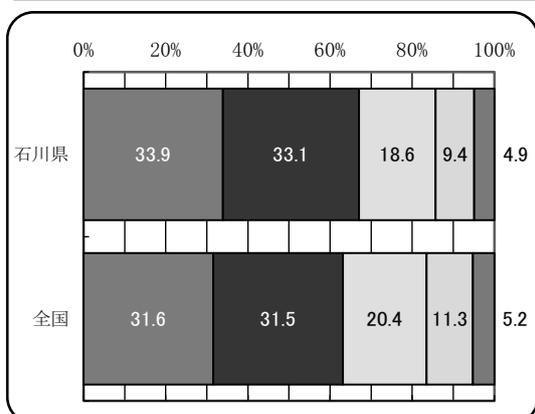
◇ 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか。

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 思い出せない



◇ 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか。

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 思い出せない



<表記について>

△:全国より2ポイント以上高い ↑:前年度(前回)より2ポイント以上高い

▼:全国より2ポイント以上低い ※:未実施

① 国語科に関すること

項 目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
国語の勉強は好きだ	R3	62.8	58.4	△	63.1	60.8	△
	R1	66.5	64.2	△	61.7	61.7	
	H30	※	※		※	※	
国語の勉強は大切だ	R3	94.5	93.2		92.2	91.6	
	R1	93.7	93.0		91.1	91.0	
	H30	※	※		※	※	
国語の授業の内容はよく分かる	R3	88.0	84.2	△	↑ 83.7	↑ 80.1	△
	R1	88.3	84.9	△	80.5	77.6	△
	H30	※	※		※	※	
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	R3	92.8	91.8		89.8	88.7	
	R1	91.9	91.2		88.6	88.0	
	H30	※	※		※	※	
国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしている	R3	83.9	82.2		83.9	81.8	△
	R1	※	※		※	※	
	H30	※	※		※	※	
国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしている	R3	68.1	63.8	△	63.5	61.3	△
	R1	※	※		※	※	
	H30	※	※		※	※	
国語の授業では、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように[自分の考えが伝わるように根拠を明確にして]書いたり表現を工夫して書いたりしている	R3	74.9	71.6	△	78.3	74.6	△
	R1	※	※		※	※	
	H30	※	※		※	※	
国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えを持ったり、[内容を解釈して]自分の考えを広げたり[深めたり]している	R3	76.5	74.3	△	79.1	77.0	△
	R1	※	※		※	※	
	H30	※	※		※	※	
解答を文章で書く問題について、最後まで解答を書こうと努力した	R3	85.7	81.3	△	77.5	73.7	△
	R1	86.7	80.4	△	82.3	79.8	△
	H30	※	※		※	※	

② 算数・数学科に関すること

項目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
算数・数学の勉強は好きだ	R3	74.5	67.8	△	↑ 64.8	59.1	△
	R1	73.0	↑ 68.6	△	↑ 59.9	↑ 57.9	△
	H30	71.6	64.0	△	57.0	53.9	△
算数・数学の勉強は大切だ	R3	95.7	93.8		88.0	84.1	△
	R1	95.0	93.7		86.2	84.2	△
	H30	94.7	92.1	△	87.3	83.6	△
算数・数学の授業の内容はよく分かる	R3	↑ 89.7	84.6	△	↑ 78.7	74.6	△
	R1	87.4	83.5	△	↑ 76.6	↑ 73.9	△
	H30	88.2	83.4	△	73.3	71.0	△
算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	R3	94.3	92.6		79.4	74.6	△
	R1	94.0	↑ 92.5		78.6	↑ 76.2	△
	H30	93.1	90.3	△	78.0	72.9	△
算数・数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える	R3	77.2	73.9	△	↑ 56.6	↑ 50.6	△
	R1	↑ 79.2	↑ 76.5	△	※	※	
	H30	69.2	64.4	△	42.5	38.7	△
算数・数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える	R3	84.8	82.7	△	↑ 79.6	↑ 75.8	△
	R1	↑ 84.5	↑ 82.0	△	※	※	
	H30	81.6	78.4	△	72.5	70.3	△
算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている	R3	90.3	89.0		84.8	83.5	
	R1	※	※		※	※	
	H30	※	※		※	※	
算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている	R3	94.1	91.9	△	91.1	86.6	△
	R1	※	※		※	※	
	H30	※	※		※	※	
言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く[説明する]問題について、最後まで解答を書こうと努力した	R3	85.5	79.9	△	67.2	57.8	△
	R1	↑ 86.5	↑ 80.7	△	↑ 67.5	↑ 60.8	△
	H30	77.6	70.6	△	63.1	55.5	△

③ 英語科に関すること

項目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
英語の勉強は好きだ	R3	70.6	68.3	△	↑ 61.3	56.7	△
	R1	※	※		57.3	56.0	
	H30	※	※		※	※	
英語の授業では、英語で[話したり書いたりして、]自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていた	R3	79.5	74.6	△	73.6	67.7	△
	R1	※	※		※	※	
	H30	※	※		※	※	
学校の授業[やそのための学習]以外で、[日常的に]英語を使う機会が[十分に]あった(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど)	R3	42.8	44.4		↑ 36.5	34.8	
	R1	※	※		34.5	33.8	
	H30	※	※		※	※	

④ 学習活動に関すること

項 目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	R3	65.7	63.5	△	↑ 61.1	↑ 62.0	
	R1	67.0	62.5	△	56.1	↑ 55.8	
	H30	66.0	61.0	△	55.6	53.8	
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	R3	81.7	78.2	△	↑ 83.2	↑ 81.0	△
	R1	81.2	77.7	△	76.9	74.8	△
	H30	79.8	76.7	△	76.5	73.8	△
授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したる活動を行っていた	R3	71.5	67.2	△	67.5	59.5	△
	R1	※	※		※	※	
	H30	※	※		※	※	
学級の友達[生徒]との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている	R3	↑ 80.7	↑ 78.8		↑ 81.3	↑ 77.8	△
	R1	78.0	74.1	△	77.3	72.8	△
	H30	80.4	77.7	△	81.0	76.3	△

⑤ 学習習慣に関すること

項 目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
家で自分で計画を立てて勉強をしている(学校の授業の予習や復習を含む)	R3	78.5	74.0	△	66.2	63.5	△
	R1	※	※		※	※	
	H30	※	※		※	※	
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上、勉強をしている	R3	68.2	62.5	△	↑ 74.2	↑ 75.9	
	R1	74.8	66.1	△	65.6	69.8	▼
	H30	76.0	66.2	△	69.4	70.6	
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たり30分以上読書をしている	R3	35.9	37.4		27.3	28.9	
	R1	40.2	39.8		25.5	27.0	
	H30	40.8	41.1		28.1	30.9	▼

⑥ 生活習慣に関すること

項 目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
朝食を毎日食べている	R3	96.2	94.9		96.0	92.8	△
	R1	96.3	95.3		95.5	93.1	△
	H30	95.6	94.5		95.1	91.9	△
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	R3	83.7	81.2	△	↑ 84.2	79.8	△
	R1	↑ 84.6	↑ 81.4	△	↑ 80.4	↑ 78.0	△
	H30	78.7	77.0		78.4	74.2	△
毎日、同じくらいの時刻に起きている	R3	91.4	90.4		94.5	92.7	
	R1	↑ 92.7	↑ 91.6		94.3	↑ 92.8	
	H30	89.8	88.8		92.9	90.3	△
学校に行くのは楽しいと思う	R3	83.4	83.4		82.7	81.1	
	R1	84.6	85.8		82.6	81.9	
	H30	※	※		※	※	
新聞を週に1回以上読んでいる	R3	17.2	14.8	△	13.1	10.4	△
	R1	23.2	19.0	△	15.7	12.7	△
	H30	25.7	19.9	△	16.3	13.9	△

⑦ 自尊意識・規範意識等に関すること

項 目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
自分には、よいところがあると思う	R3	75.0	76.9		75.4	↑ 76.2	
	R1	81.6	81.2		75.7	74.1	
	H30	83.3	84.0		80.3	78.8	
将来の夢や目標を持っている	R3	78.4	80.3		68.3	68.6	
	R1	82.7	83.8		70.2	70.5	
	H30	85.4	85.1		72.5	72.4	
自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている	R3	85.4	84.3		86.4	84.2	△
	R1	※	※		※	※	
	H30	※	※		※	※	
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している	R3	73.3	70.9	△	70.2	65.9	△
	R1	81.3	79.0	△	72.7	70.3	△
	H30	※	※		※	※	
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	R3	97.1	96.8		96.6	95.9	
	R1	97.5	97.1		95.6	95.1	
	H30	97.5	96.8		96.0	95.5	
人の役に立つ人間になりたいと思う	R3	96.0	95.5		95.9	95.0	
	R1	95.7	95.2		94.8	94.3	
	H30	95.8	95.2		96.1	94.9	

⑧ 社会に関すること

項 目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
今住んでいる地域の行事に参加している	R3	73.3	58.1	△	54.8	43.7	△
	R1	↑ 81.8	↑ 68.0	△	↑ 58.2	↑ 50.6	△
	H30	78.8	62.7	△	54.0	45.6	△
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある	R3	54.8	52.4	△	↑ 48.7	↑ 43.8	△
	R1	↑ 56.7	↑ 54.5	△	41.9	39.4	△
	H30	51.8	49.9		40.9	38.7	△

⑨ ICT教育に関すること

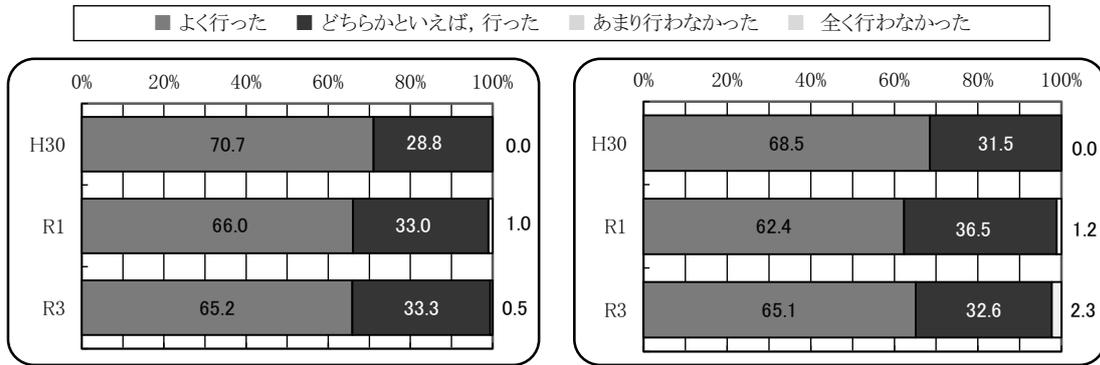
項 目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
授業で、コンピュータなどのICTを週1回以上使用した	R3	↑ 38.0	↑ 40.1	▼	↑ 29.3	↑ 33.4	▼
	R1	26.0	30.6	▼	25.7	30.6	▼
	H30	※	※		※	※	
学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達[生徒]と意見を交換したり、調べたりするために、週1回以上使用している	R3	45.6	39.0	△	50.8	34.8	△
	R1	※	※		※	※	
	H30	※	※		※	※	
学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う	R3	95.7	94.5		94.5	93.2	
	R1	※	※		※	※	
	H30	※	※		※	※	
普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っている	R3	17.6	19.9	▼	17.3	19.5	▼
	R1	※	※		※	※	
	H30	※	※		※	※	

(2) 学校質問紙調査

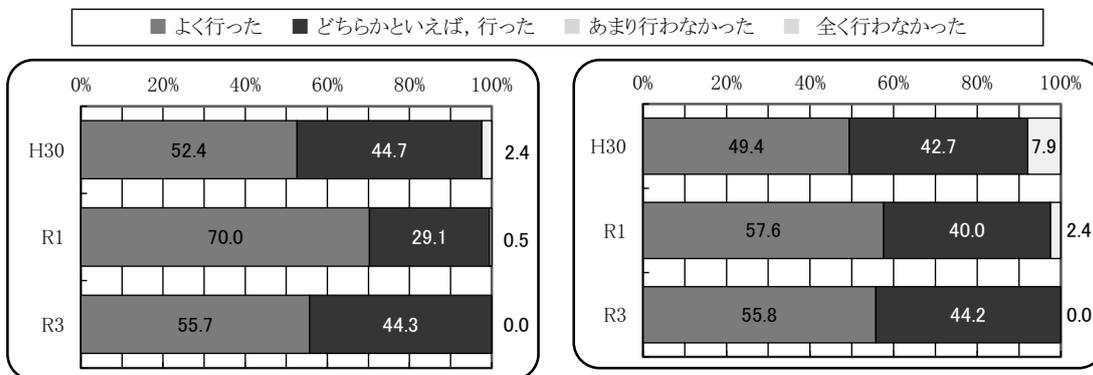
【小学校】

【中学校】

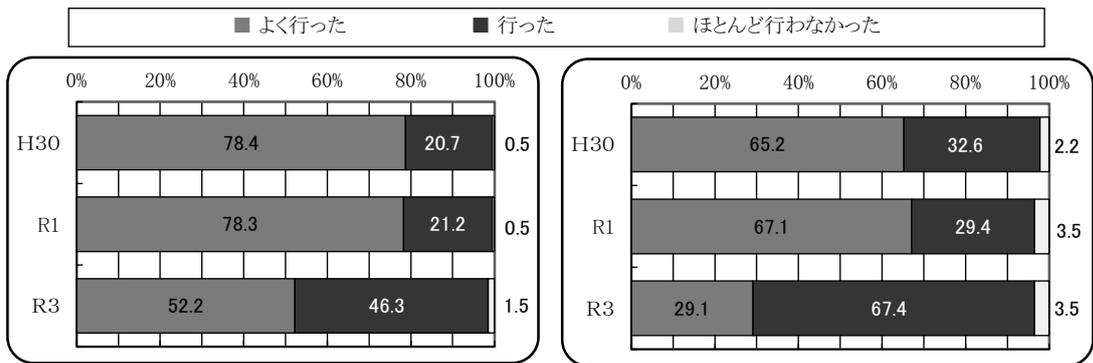
◇ 前年度までに、学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組をどの程度行いましたか。



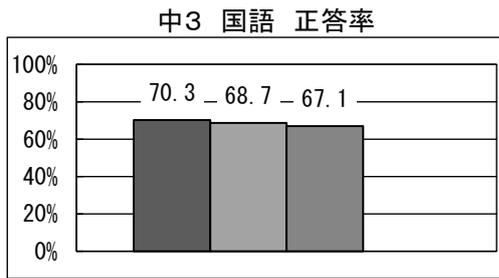
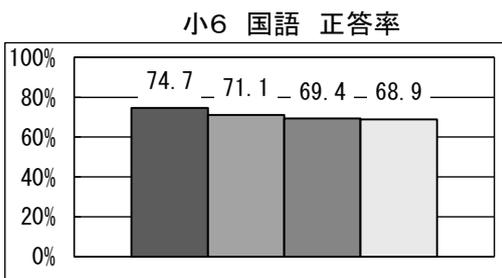
◇ 前年度までに、家庭学習の取組として、児童生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしましたか。【教科共通】



◇ 自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか。



◇ 児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか。



■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない

※学校質問紙調査において、各教科区分とのクロス集計したグラフから、小・中ともに国語のグラフを抜粋

<表記について>
 △:全国より2ポイント以上高い ↑:前年度(前回)より2ポイント以上高い
 ▼:全国より2ポイント以上低い ※:未実施

① 児童生徒に関すること

項目		小学校			中学校		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
授業中の私語が少なく、落ち着いていると思う	R3	↑ 89.6	88.5		95.3	96.0	
	R1	86.7	87.7		94.1	94.1	
	H30	89.9	89.4		95.5	94.6	
児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている	R3	89.1	85.3	△	↑ 83.7	↑ 86.0	▼
	R1	↑ 91.6	85.5	△	81.2	82.6	
	H30	85.1	83.6		84.3	80.8	△

② 教育課程に関すること

項目		小学校			中学校		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している	R3	95.6	94.4		↑ 91.8	90.6	
	R1	95.1	95.1		87.1	91.3	▼
	H30	97.1	94.7	△	91.0	90.2	
児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDC Aサイクルを確立している	R3	94.5	93.6		95.4	92.7	△
	R1	97.0	95.4		↑ 98.8	93.4	△
	H30	95.7	94.9		95.5	93.1	△
指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている	R3	98.0	94.2	△	81.4	84.6	▼
	R1	97.1	96.4		↑ 91.8	↑ 86.9	△
	H30	95.7	96.0		87.7	84.6	△
教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている	R3	75.6	85.7	▼	76.8	87.2	▼
	R1	83.8	89.6	▼	↑ 88.3	86.4	
	H30	87.0	90.6	▼	77.6	85.2	▼
近隣等の小・中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った	R3	59.7	59.1		72.1	65.0	△
	R1	70.5	65.0	△	76.5	68.0	△
	H30	70.7	63.1	△	79.7	69.2	△

③ 学習指導・生徒指導に関すること

項 目	小学校			中学校			
	本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較	
授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れている	R3	94.0	87.7	△	94.2	84.5	△
	R1	※	※		※	※	
	H30	※	※		※	※	
習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしている	R3	89.6	88.1		86.1	86.9	
	R1	93.6	89.3	△	94.1	88.0	△
	H30	98.1	93.0	△	100.0	92.6	△
各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けている	R3	83.6	81.4	△	69.8	72.6	▼
	R1	88.6	84.7	△	78.8	77.9	
	H30	91.8	89.7	△	88.8	83.6	△
知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習を、計画的に取り入れている	R3	74.6	73.1		72.1	67.6	△
	R1	※	※		※	※	
	H30	※	※		※	※	
児童生徒の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童生徒の学習改善に生かすことを心がけている	R3	97.5	95.8		93.0	95.8	▼
	R1	※	※		※	※	
	H30	※	※		※	※	
児童生徒のよい点や改善点などを積極的に評価し、学習したことなどの意義や価値を実感できるようにしている	R3	99.0	96.6	△	95.4	95.7	
	R1	※	※		※	※	
	H30	※	※		※	※	
創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価規準や評価方法の教師間での明確化・共有化や、学年会や教科等部会等の校内組織の活用など、組織的かつ計画的な取組をしている	R3	87.6	84.4	△	88.4	88.3	
	R1	※	※		※	※	
	H30	※	※		※	※	
授業の中で目標(めあて・ねらい)を児童生徒に示し、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れている	R3	98.5	98.3		97.7	97.8	
	R1	※	※		※	※	
	H30	※	※		※	※	
児童生徒に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしている	R3	85.1	↑ 85.3		97.7	97.9	
	R1	↑ 83.8	83.2		96.5	98.6	▼
	H30	81.8	83.3		100.0	98.6	
児童生徒に対して、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えている	R3	94.5	94.6		↑ 95.4	92.7	△
	R1	↑ 98.5	96.6		91.8	95.2	▼
	H30	94.2	96.5	▼	94.4	95.0	
学習規律(他の人が話をしている時はしっかりと聞く、授業開始のチャイムを守るなど)を維持している	R3	97.5	96.9		98.8	98.8	
	R1	※	※		※	※	
	H30	※	※		※	※	
学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行っている	R3	98.5	98.7		97.7	98.6	
	R1	99.0	98.8		98.9	98.6	
	H30	99.5	99.0		100.0	97.9	△
大型提示装置などのICT機器を活用した授業を、1クラス当たり週1回以上行っている	R3	↑ 81.6	↑ 86.6	▼	↑ 94.2	↑ 87.8	△
	R1	↑ 77.8	↑ 80.8	▼	↑ 87.1	↑ 80.8	△
	H30	70.2	73.0	▼	84.3	74.8	△

④ 調査結果の活用に関すること

項 目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用している	R3	98.5	92.1	△	96.5	87.7	△
	R1	99.5	97.3	△	96.5	95.7	
	H30	99.1	97.6		97.8	96.1	
自校の結果を独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っている	R3	99.0	88.7	△	95.3	85.8	△
	R1	99.5	95.3	△	96.4	93.7	△
	H30	98.1	94.4	△	97.8	91.8	△
全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小・中学校と成果や課題を共有している	R3	49.8	48.1		53.5	48.5	△
	R1	↑ 76.8	60.6	△	68.3	60.0	△
	H30	65.0	63.3		83.1	64.0	△

⑤ 国語科の指導方法に関すること

項 目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
国語の指導として、補充的な学習の指導を行っている	R3	89.1	85.4	△	80.2	86.5	▼
	R1	94.1	89.0	△	88.2	88.9	
	H30	※	※		※	※	
国語の指導として、発展的な学習の指導を行っている	R3	64.6	56.6	△	79.1	72.9	△
	R1	71.4	62.4	△	85.9	74.6	△
	H30	※	※		※	※	
言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりする授業を行っている	R3	91.1	91.4		94.2	94.8	
	R1	※	※		※	※	
	H30	※	※		※	※	
目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりする授業を行っている	R3	94.5	92.8		91.9	88.3	△
	R1	※	※		※	※	
	H30	※	※		※	※	
目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係を[自分の考えが伝わるように根拠を]明確にして書いたり、書き表し方を工夫したりする[表現を工夫して書いたりする]授業を行っている	R3	94.5	89.6	△	95.3	94.3	
	R1	※	※		※	※	
	H30	※	※		※	※	
目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり[内容を解釈して]自分の考えを広げたり[深めたり]する授業を行っている	R3	96.0	93.9	△	90.7	92.7	
	R1	※	※		※	※	
	H30	※	※		※	※	

⑥ 算数・数学科の指導方法に関すること

項目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
算数・数学の指導として、補充的な学習の指導を行っている	R3	97.5	94.6	△	96.5	92.7	△
	R1	98.6	↑ 96.5	△	↑ 96.4	↑ 94.3	△
	H30	96.7	94.3	△	93.3	91.4	
算数・数学の指導として、発展的な学習の指導を行っている	R3	77.1	67.1	△	83.7	75.8	△
	R1	↑ 83.2	↑ 72.8	△	↑ 90.6	↑ 76.5	△
	H30	74.5	64.5	△	74.2	66.5	△
算数・数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行っている	R3	↑ 86.6	82.2	△	76.8	78.1	
	R1	↑ 82.3	↑ 82.4		83.6	↑ 78.1	△
	H30	78.8	78.0		84.3	72.1	△
計算の仕方[公式やきまり]などを指導するとき、児童生徒がそのわけ[根拠]を理解できるように工夫している	R3	99.0	97.1		94.2	96.5	▼
	R1	※	※		※	※	
	H30	※	※		※	※	
問題の解き方や考え方の過程が分かるように工夫してノートを書く指導を行っている	R3	97.5	92.9	△	93.0	89.5	△
	R1	※	※		※	※	
	H30	※	※		※	※	

⑦ 英語の指導方法に関すること

項目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合う[英語で話したり書いたりして、生徒自身が互いの考えや気持ちを伝え合う](対話的な)活動に取り組んでいる	R3	97.0	93.5	△	91.9	93.3	
	R1	※	※		※	※	
	H30	※	※		※	※	

⑧ 家庭や地域との連携等に関すること

項目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
保護者や地域の方が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加している	R3	98.0	95.7	△	86.0	85.3	
	R1	97.0	97.8		↑ 94.1	90.4	△
	H30	95.7	97.7	▼	91.0	90.4	
地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、上記の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による活動を行っている	R3	52.7	73.3	▼	44.1	63.3	▼
	R1	↑ 61.1	↑ 79.2	▼	↑ 54.2	↑ 67.5	▼
	H30	52.4	72.8	▼	46.1	60.7	▼
上記の質問にあるような保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がある	R3	94.5	94.7		89.6	89.8	
	R1	↑ 95.1	95.6		↑ 90.5	↑ 91.5	
	H30	92.3	95.4	▼	84.3	88.6	▼

⑨ 家庭学習に関すること

項目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図っている(教科共通)	R3	97.0	90.6	△	↑ 97.7	85.5	△
	R1	↑ 99.5	92.2	△	94.2	87.0	△
	H30	96.7	91.6	△	95.5	87.1	△
家庭学習の取組として、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えている(教科共通)	R3	100.0	95.5	△	↑ 100.0	91.9	△
	R1	↑ 99.1	↑ 95.5	△	↑ 97.6	↑ 92.3	△
	H30	97.1	93.3	△	92.1	90.2	

⑩ 教員研修に関すること

項目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っている	R3	99.0	98.1		93.0	93.9	
	R1	↑ 100.0	↑ 99.3		↑ 98.8	↑ 96.4	△
	H30	96.6	96.7		91.0	90.9	
近隣等の小・中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行っている	R3	64.2	57.4	△	69.7	65.1	△
	R1	↑ 81.8	70.6	△	88.2	76.2	△
	H30	77.9	69.5	△	88.7	76.5	△

⑪ 教職員の取組に関すること

項目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させている	R3	92.6	84.6	△	91.9	84.5	△
	R1	98.5	94.4	△	90.6	89.9	
	H30	97.6	96.9		94.4	93.9	
学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしている	R3	92.0	87.4	△	81.4	79.1	△
	R1	93.1	92.1		91.8	84.4	△
	H30	95.2	93.1	△	96.6	86.0	△
学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいる	R3	100.0	98.7		98.8	98.0	
	R1	99.0	98.3		97.7	96.9	
	H30	99.1	98.5		98.9	96.9	△
学校として、業務改善に取り組んでいる	R3	98.5	97.5		97.7	96.4	
	R1	↑ 100.0	98.5		↑ 100.0	97.8	△
	H30	97.1	97.4		97.8	96.8	

令和3年度

全国学力・学習状況調査 ー結果の概要ー

令和3年10月発行

石川県教育委員会事務局学校指導課

〒920-8575 石川県金沢市鞍月1丁目1番地

TEL 076-225-1827

e-mail : gakusi@pref.ishikawa.lg.jp